



垂水区医療介護サポートセンター ごしまろくんの サポートセンター便り 第11号

発行：垂水区医療介護サポートセンター
住所：〒655-0038
神戸市垂水区星陵台4丁目4-37
垂水区医師会内
TEL：078-785-1166
FAX：078-785-1167

口腔ケアで健康を守る～垂水区歯科医師会新会長挨拶～

初めまして、令和5年7月から垂水区歯科医師会会長に就任しました秀 有剛（ひで ありたか）です。平素より垂水区医療介護サポートセンターをはじめ、医療介護関係者には大変お世話になっています。垂水区歯科医師会会員は、「地域医療に貢献する」という目標のもと、公衆衛生の普及活動を事業計画に掲げています。

口腔衛生の向上、口腔の健康の維持は、QOLの向上に通じます。歯科治療、口腔ケアを行うことによって、口腔衛生状況が向上すれば誤嚥性肺炎の危険性も低下します。脳卒中急性期から実施される口腔ケアの早期介入を標準化することは、誤嚥性肺炎の抑制効果の一助になります。そして、合併症を減らし、中長期的なADLを改善する可能性があると考えられています。そこで、術後の中長期的なADLに携わられる医療介護関係者との一層の協働が重要となってきます。周術期口腔ケアは、化学療法、放射線療法の合併症やトラブルを減らし、治療を円滑に行える為これからも病院との連携を強化したいと考えます。



秀 有剛（垂水区歯科医師会会長）

歯科医師会会員のほとんどは、自院の診療に加えて、神戸市から神戸市歯科健康診査（40歳・50歳・60歳・妊産婦・75歳）事業、神戸市オーラルフレイル事業を委任されています。この度、令和5年4月からチェック票が大幅に変更されました。変更点の一つに、後期高齢者75歳においても、介護予防の取り組みが必要と考えられる口腔機能低下と判定した場合には、あんしんすこやかセンターへの紹介が可能となりました。

一昨年から65歳を迎えられた方を対象にしたオーラルフレイルチェック事業に加えて、後期高齢者75歳歯科健診も、より口腔機能低下に対する対応を充実させた75歳オーラルフレイルチェックとなっています。そこで介護予防の取り組みが必要と考えられる口腔機能低下の場合は、受診者と相談のうえでフレイル改善サービス等の利用を考慮してもらうこととなりました。ご存知の通りオーラルフレイルは、全身のフレイルに先立って現れるとされています。オーラルフレイルの症状は、むせやすくなった、食べ物の偏り、より柔らかい食べ物に嗜好が変化、滑舌が悪くなった、飲み込みにくくなった等の軽微な低下状況なので、歯科医師でなくても医療介護関係者が早期に気づかれるのではないのでしょうか。フレイルの時点で早期の対応ができれば、健康な状態に戻ることが可能です。口腔の機能向上が、栄養状況の改善にもつながります。筋肉量の低下防止、身体機能の低下防止は、健康寿命の延伸に大きく影響することになります。

垂水区歯科医師会と地域のあんしんすこやかセンターとの連携を強化する試みが昨年度から始まっています。要注意判定と判断された患者さんに対して、あんしんすこやかセンターへ相談に行くよう促していく方針となっております。できるだけ早期の介入が重要です。また、歯科医院への通院が困難な場合でも歯科医師、歯科衛生士が住居、病院に訪問し歯科治療口腔衛生管理を行っています。訪問診療を行っている歯科医療機関を垂水区歯科医師会ホームページ、メディネットタイム、私の街の歯医者さんに掲載しております。訪問歯科診療を希望する場合は、『訪問歯科診療連絡票』をダウンロード（※）もしくはコピーし垂水区歯科保健推進室までFaxください。

～誰もが健康になれるまち「健康創造都市 KOBE」めざせ健康寿命の延伸！～

地域包括ケアに向けた取り組み

【課題】 口腔機能管理が必要な要介護高齢者の把握とその対応。

【今後の方向性】

- 介護が必要な高齢者が住み慣れた地域で、口腔機能を維持しながら安心して生活ができるよう地域包括ケアシステムの中で、歯科医療・口腔ケアについても切れ目のない支援体制の構築に取り組む。
- 口腔機能管理の重要性について市民や関係機関へ啓発する。
- 口腔機能管理が必要な人がスムーズに受けられるよう「訪問歯科診療および訪問口腔ケア必要度チェック票」（下図参照）を活用するなど多職種連携の取り組みを進める。

《神戸市こうべ歯と口の健康づくりプランより》



訪問歯科診療及び訪問口腔ケア必要度チェック票

現在、訪問歯科診療・訪問口腔ケアを受けておられる方は以下のチェックは不要です

氏 名 _____ 調査年月日 年 月 日
 _____ 記載者氏名／職種

【チェック票 ①】 該当する欄に○を入れてください

項 目	あり	なし	症 状
義歯 (入れ歯)			歯がないのに入れ歯がない、使用していない
			入れ歯が安定していない、落ちる、動く
			入れ歯が壊れている(割れている、バネが壊れている)
むし歯			被せ物や詰め物が外れている
歯周病			口臭がある
摂食・嚥下 (飲み込み・むせ)			食べこぼしがある
			食事中にむせることがある
			食事量が減って体重減少がある・食事に時間がかかる
			熱が出たり、肺炎を繰り返す
手入れ			介助者の歯みがきを嫌がる

- 表面【チェック票①】のどれか一つでも該当する場合
- 裏面【チェック票②】の「やや不良」または「病的」に一つでも該当する場合

訪問歯科診療・訪問口腔ケアが必要です。
かかりつけ歯科医にご相談ください。

歯科医療機関につなげる場合は、ご本人やご家族の意思を確認してください。

かかりつけ歯科医がない場合は、下記の「神戸市歯科医師会 歯科保健推進室」をご案内ください。

神戸市歯科医師会 歯科保健推進室 電話:078-391-8020 FAX:078-391-6480

【チェック票 ②】 該当する欄に○を入れてください

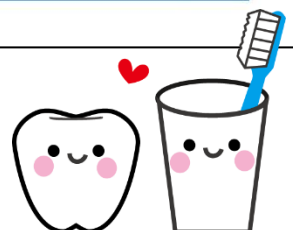
項目	健全	やや不良	病的
チェック欄④			
歯舌 (口腔乾燥)			
	潤滑 乾つかない(経液性) 舌苔なし、または少量	乾燥・口唇乾 少量の乾燥 べたつき粘着	舌く干からび干かび状、状態 増悪は速い 大量の舌苔付着
チェック欄⑤			
口唇			
	ピンク色 乾癬なし ひび割れなし	乾燥・ひび割れ 口角の赤赤、びらん(口角炎)	増悪や潰瘍 茶色斑・白色斑 口角の出血・潰瘍
チェック欄⑥			
歯肉			
	潤滑 ピンク色 出血なし	乾燥・光沢・粗面・発赤 部分的な腫脹(1〜6割分程度) 歯槽下の粘膜の発赤、潰瘍	乾燥・充血(7割以上) 歯の動揺・強い口臭 白色斑・発赤・疼痛
チェック欄⑦			
義歯			
	清潔状態良好 数滴・ブラーク(歯肉・歯舌)なし	1〜2割位(少量)に黄濁・ ブラーク(歯肉あり) 歯ブラシや歯肉洗浄剤で取れる	多くの部位に黄濁・ブラーク (歯肉・歯舌)にあり 歯ブラシや歯肉洗浄剤で 取りづらい

監修:ときわ病院 歯科口腔外科

「やや不良」「病的」に該当する場合は、ご本人の不快感などの訴えがない場合でも、歯科医療機関への受診を勧めてください。



KOBE
CITY OF DESIGN



神戸市訪問歯科診療及び訪問口腔ケア必要度チェック票より
(<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/33383/hitsuyoudochekuhyou.pdf>)

研修報告

第6回垂水区事例検討会

参加者：33名

看取り事例検討会

「家でうなぎが食べたい・・・」 ～願いのためにたちあがった プロジェクトX～

今回、入退院を繰り返し嚥下機能も低下していたが、好物であったウナギを食べ最後まで家で過ごしたケースでした。本人の支援にあたった主治医や訪問看護師、言語聴覚士、訪問介護員に本人・家族の支援について振り返っていただきました。その後、グループワークで「このケースの好機となった資源について分析」を行いました。「本人の意思表示がしっかりしていた」「本人に関わる関係者が同じ方向を見ていた」などの意見がありました。

第6回 垂水区事例検討会
主催：垂水区医師会 垂水区医療介護サポートセンター
協力：NPO法人エナガの会

看取り事例検討会
「家でうなぎが食べたい・・・」
～願いのためにたちあがった プロジェクトX～
(原典：岡武 清樹 (垂水区医師会))

日時 2023年4月15日(土)14:00～16:00
会場 垂水区医師会館(星陵台4-4-37) 定員 20名

92歳 入院中 医療依存度高く、食事ままならない
病棟では「病院はいやや。家に帰りたい。」
自宅では妹さんが待つ…
あなたならどう考えますか？

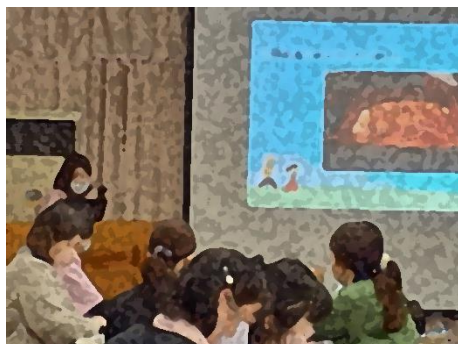
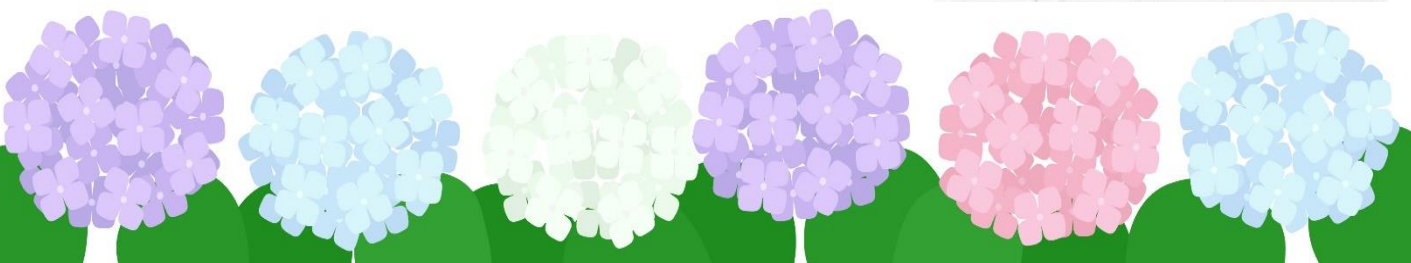
家族の介護力は？
何を優先させる？
サービスは？
連携は？

※事例提供者・パネリスト※
看護婦 藤富 清美
(西部しあわせ訪問看護ステーション)
看護婦 榊 静
(西部しあわせ訪問看護ステーション)
訪問介護員 川口 美里
(スミリンケアライフ垂水ステーション)
言語聴覚士 唐津 珠美
(西部しあわせ訪問看護ステーション)
医師 藤井 芳夫
(藤井内科クリニック)

約3年ぶりに診療開催します。顔の見える関係となり連携が促進されればと願います。
小人数でゆったりとケアについて考え、明日につなげる場とします。

お申込み 医療介護サポートセンターホームページ
<https://koko-journal.jp/>
(一区画・介護関係者のみ参加→市市区→研修会名をクリック)
または、右のQRコードから。
※申し込み締め切り：4月7日(金)

お問い合わせ 垂水区医療介護サポートセンター 担当：岡合・桐手
☎ 078-785-1166



事例検討会を延期していましたが4月に開催でき、参集での研修は約3年半振りでした。オンラインでは味わえない『ひと時』になりました。感染対策をしつつ皆様と会える日を楽しみにしています。今年度、コーディネーター2名が出来る限り地域の事業所・機関を訪問し、課題抽出や交流を考えております。